

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI (2019年3月末基準)

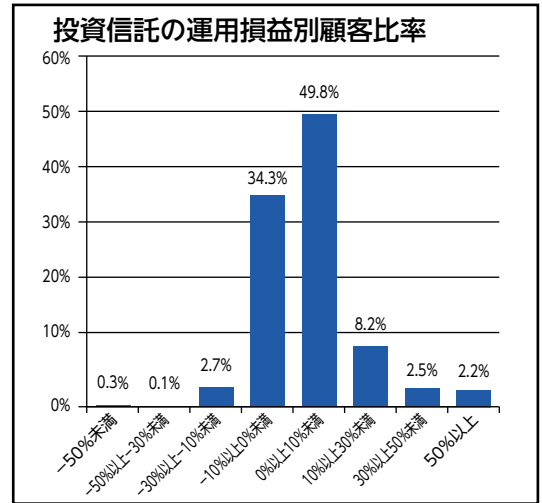
金融庁は、2018年6月に「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」(以下「共通KPI」とします)として3つの指標を掲げました。これらは、お客さまがより良い金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶために、各金融事業者が公表する共通の指標です。

当金庫の共通KPI(2019年3月末基準)は以下の通りです。

I. 運用損益別顧客比率

当金庫にて投資信託をご購入頂いたお客さまについて、基準日時点に保有している投資信託の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益率ごとにお客さまの割合を示したものです。

2018年度末時点で、運用損益率がプラス(0%以上)となったお客さまの割合は62.7%でした。



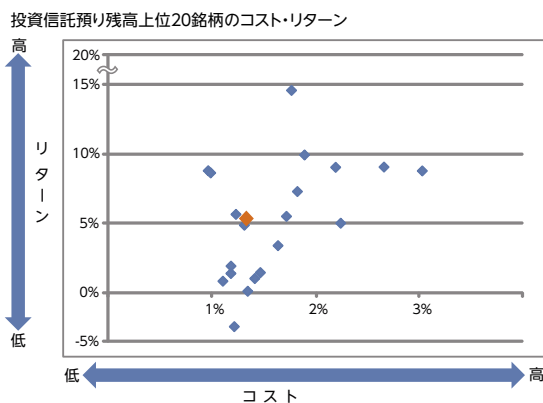
$$\text{運用損益率} = \frac{\begin{array}{l} \text{基準日時点の評価金額} \\ + \text{累計受取分配金額(税引後)} \\ + \text{累計売付金額} \\ - \text{累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)} \end{array}}{\text{評価金額}}$$

II. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

当金庫で取り扱っている投資信託の預り残高上位20銘柄(設定後5年以上)について、銘柄ごとの<コストとリターンの関係>と<リスクとリターンの関係>を示したものです。

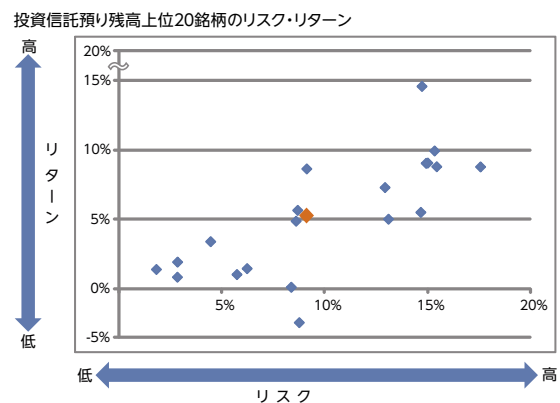
No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型(財産3分法)	1.46	8.05	4.90
2	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.88	4.47	3.43
3	インデックスファンド225	0.99	15.70	8.82
4	ニッセイ健康応援ファンド	2.01	14.74	14.60
5	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型(世界の財産3分法)	1.35	8.15	5.68
6	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.57	6.34	1.49
7	トレンド・アロケーション・オープン	1.49	5.69	1.07
8	インデックスファンドリポート	1.03	8.74	8.66
9	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)(ハッピークローバー)	1.40	7.74	0.15
10	世界のサイフ	1.28	8.26	-2.39
11	DIAMワールド・リポート・インカム・オープン(毎月決算コース)(世界家主倶楽部)	2.14	12.84	7.32
12	日本債券ファンド	1.24	1.69	1.43
13	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン(椰子の実)	2.35	13.06	5.05
14	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.18	15.56	9.96
15	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(健次)	2.92	17.56	8.81
16	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.00	14.42	5.54
17	朝日ライフSRI社会貢献ファンド(あすのはね)	2.57	15.12	9.09
18	グローバル・バリュー・オープン	2.29	15.01	9.07
19	グローバル・ボンド・ポート(Cコース)	1.13	3.05	0.88
20	高格付債券ファンド(為替ヘッジ70) 毎月分配型(73(しちさん))	1.24	3.06	1.96

設定後5年以上経過している投資信託※の残高上位20銘柄を対象とします。※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。



残高加重平均値 (オレンジ色の◆)	コスト	リターン
	1.55%	5.24%

コスト	全体	販売手数料率の1/5+信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)	



残高加重平均値 (オレンジ色の◆)	リスク	リターン
	9.12%	5.24%

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)

リスク・リターン出所:株式会社NTTデータ・エービック
Copyright (C) 2019, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.